

松木千俊還曆記念

第三回

千俊のこころ

羽衣



乱



令和四年八月六日（土）

午後一時開場

午後二時開演

於 觀世能樂堂

二十五世觀世左近記念

写真撮影：山口 直也
前島 吉裕
題字揮毫：堀口 紅楓

第三回 千俊の会

令和四年八月六日(土) 午後二時開演
於二十五世観世左近記念 観世能楽堂

お話 葛西 聖司

仕舞

小鍛冶 千俊

松木 崇俊

武田 章志
佐川 勝貴
武田 友志
武田 祥照

羽衣

シテ 天女 松木 千俊
ワキ 白龍 殿田 謙吉

大鼓 佃 良太郎 太鼓 大川 典良
小鼓 森澤 勇司 笛 竹市 学

後見 武田 尚浩
武田 宗和

地謡 小早川 康充 武田 文志
小早川 泰輝 武田 重好
武田 崇史 武田 志房
武田 宗典 小早川 修

狂言

福の神

シテ 福の神 高澤 祐介

アド 参詣人 前田 晃一
小アド 参詣人 大塚 出

休憩 二十分

お話 葛西 聖司

能

シテ 狸々 松木 千俊
ワキ 高風 野口 能弘

大鼓 亀井 洋佑 太鼓 小寺 真佐人
小鼓 鶴澤 洋太郎 笛 杉 信太郎

後見 武田 章志
武田 友志

地謡 松木 崇俊 浅見 慈一
武田 祥照 下平 克宏
佐川 勝貴 岡 久広
北浪 貴裕 大松 洋一

終了予定 午後五時半

あらすじ

◆羽衣(はごろも)

駿河国(静岡県)三保の松原。漁師白龍が釣りに来て、美しい衣が松の枝にかかっているのを見つける。家宝に持ち帰ろうとする、それを返してと女性が生をかける。その女性こそ天女であり、衣は飛翔に使う天の羽衣であると聞き、よけいに欲しくなる白龍。天に帰れないと嘆き悲しむので、漁師は天女の舞を見せてくれれば衣を返すと言う。天人は喜びの中、天の羽衣を着て、月世界の生活を語り、後世に駿河舞として伝えられる舞を見せ、空へ帰って行く。江戸期、数多くの舞踊曲の原典となる。言葉のわからぬ海外でも、能の代表曲として上演される、国際的かつ宇宙的広がりをイメージさせる作品。

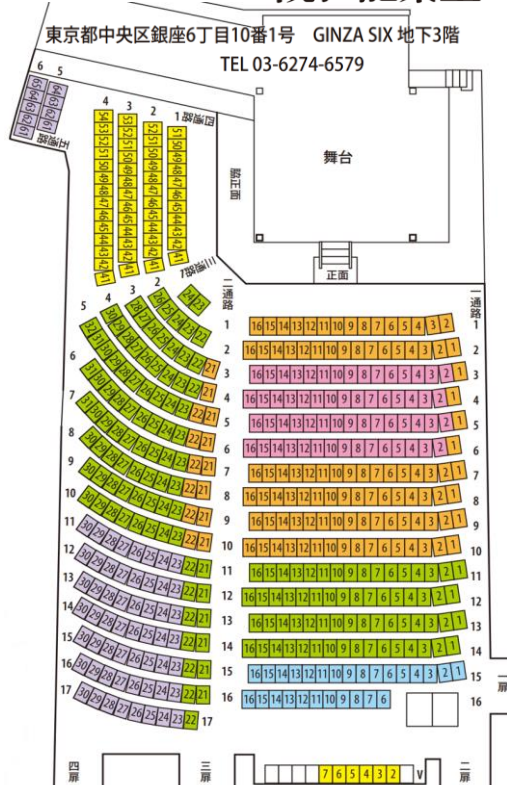
◆乱(みだれ)

中国の高風は親孝行。夢のお告げのとおり、揚子の市で酒を売ると、富貴の身になったという。また、その店に来る客のなかに、いくら酒を飲んでも顔色一つ変えない者がいて、海中に住む狸々だとわかったので、月夜に滄陽の江に出て、酒壺を据えて彼を待つ。そこへ酒と良き友を慕って、狸々が波間から浮かび出てくる。葉の水、菊の水ともいわれる銘酒。盃を酌み交わし、芦の葉を笛に、波の音を鼓の調べにして、冴えわたる星月夜、狸々は心高揚し舞う。気がつく、狸々は消え、汲んでも尽きない酒壺が与えられていた。全身赤づくめ、足づかいの特殊な能。酒好きの異名にもなる。富貴永遠の泉のめでたさから多くの舞踊作品を後続させた。

「乱」とは…

「狸々」の特殊演出のことです。狸々が、水上を戯れ、遊ぶ姿を、蹴り上げる足や、つま先立で動く流れ足などを用いて、表現します。このような特殊演出が「狸々」と「乱」の違いになります。

二十五世観世左近記念 観世能楽堂



チケット料金表(税込み)

SS 席	13,000 円	S 席	11,000 円
A 席	10,000 円	B 席	8,000 円
※ C 席	9,000 円	D 席	6,000 円
※字幕解説用タブレット付		※ 学生席	4,000 円

- 座席をご指定される場合は上記の金額にプラス 2,000 円になります。
- ※以外の席(各1列目の席での使用は不可)での字幕解説用タブレットをご利用の場合は別途 1,000 円になります。
- 今後の社会情勢を鑑み、中止や公演内容の変更等が生じる場合がございます。予めご了承下さい。

チケット
申込みフォーム



プロフィール



まつき ちとし
松木 千俊

1962年8月2日、観世流能楽師シテ方準職分松木福蔵の孫、同松木千冬の長男として生まれる。
1966年、福蔵三回忌追善能仕舞「老松」にて初舞台。
1982年、武田志房に師事。1989年、独立。
観世流能楽師シテ方準職分。
学習院中等科・高等科、東京藝術大学邦楽科卒業。
重要無形文化財総合指定保持者。
一般社団法人松の会代表理事。
公益社団法人能楽協会会員。一般社団法人日本能楽会会員。
一般社団法人観世会理事。長野県坂城町特命大使。
「檀の会」「松能会」「松謡会」「千俊の会」主催。

一般社団法人

松の会

お申込み・お問合せ

事務担当：080-2555-0626 (佐藤)
TEL・FAX：03-6767-5555
E-mail：matsunokai@gmail.com
HP：http://matsunokai.com/

